

教職ガイダンス（1年生）関係資料の掲載について

教員免許取得希望の学生は、4月7日（水）に実施する「1年生用教職課程オリエンテーション」に参加してください。

1年生

- 【資料1】 教員免許取得を希望される皆様へ
- 【資料2】 九州共立大学 教職課程 履修カルテ 〈自己実現状況評価シート〉
- （様式1） 教職課程履修願

教員免許取得を希望される皆様へ

ご入学おめでとうございます。

さて、九州共立大学では、下記の教育職員免許状取得が可能です。ただし、教員免許取得のためには、大学を卒業するために必要な単位修得に加え、教職専門科目(＝教職課程科目)の単位修得が必要です。

教員免許状取得のために必要な科目の履修に当たって留意してもらいたい点を以下にまとめましたので、よく読んでうえで教職課程を履修するかどうか決めてください。

1. 本学で取得可能な教員免許について

本学で取得できる教員免許は次のとおりです。

経済学部	経済・経営学科	中学校教諭一種免許状 (社会)
		高等学校教諭一種免許状 (地理歴史)
		高等学校教諭一種免許状 (公民)
		高等学校教諭一種免許状 (商業)
スポーツ学部	スポーツ学科	中学校教諭一種免許状 (保健体育)
		高等学校教諭一種免許状 (保健体育)

2. 教職課程履修の心構え

- (1) 教員免許取得のためには、大学を卒業するために必要な単位修得に加え、教職専門科目(＝教職課程科目)の単位修得が必要です。単位修得が必要な科目については、「学生便覧」の教職課程履修規定および「履修ガイド」を参照してください。複数の免許状を同時に取得することを目指すこともできますが、その分履修が必要な単位数が増加します。自身の進路や適性を考えてどの免許状の取得を目指すか考えてください。
- (2) 本学では姫路大学と連携した「小学校教員養成プログラム」があり、小学校教員免許状に必要な単位を修得することもできますが、小学校教員免許状取得は、本学における中学校・高等学校双方の教員免許状取得が前提条件となります。詳しい説明は12月頃を予定しています。
- (3) 法令に基づいた内容・水準を保つため、教職課程の科目は、各授業の最終週までの評価が「不可」であった場合、再評価の試験はありません。
- (4) 各学科に本学で定めた内規があります。基準を満たせない場合、教員免許状取得に必要な科目である「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習(中・高)」を履修することができません。内規については、「履修ガイド」を参照してください。
- (5) 卒業時に取得できる免許状の有効期限は10年間です。更新するには大学や教育委員会が開設する免許状更新講習を受講する必要があります(計30時間、有料)。教育関係の職業でなければ、免許状を持ち続けるのは困難です。この点も踏まえてよく考えてください。
- (6) 免許状の取得は教員採用を約束するものではありません。公立学校の教員になるには各県市の教育職員採用試験を、また私立学校の教員になるには各学校の採用試験を受験することになります。近年は以前よりも正規職員の募集が増加していますが、自治体・教科によっては倍率が10倍を超えることも珍しくありません。さらには、少子化及び公務員の定数削減の影響もあり、教員の新規採用は長期的には減少していくものです。正規職員として教員になるためには、授業外の学修を含めて相当の努力が求められます。

3. 教職課程履修費・教職課程履修願について

教職課程科目を履修登録する学生は、別紙の「教職課程履修願」を提出してください。(提出先：教務課、締切：令和3年5月7日(金))6月上旬に保護者宛に教職課程履修費の納付書を発送予定です。このため、保護者とよく話し合って履修を開始するようにしてください。履修願には保護者様のサインと印鑑が必要です。保護者が遠方に住んでいる人は期限内に郵送等でやり取りしてください。履修願が期限内に提出されなかった場合は、教職課程科目の履修登録が削除されますので注意してください。

4. 教職課程に関する質問や相談について

教職課程履修願、履修登録、学生便覧等に関する質問は教務課で受け付けます。教職課程科目の内容や履修に関する相談は、ガイダンス担当教員(経済学部：金子研太、スポーツ学部：清永裕子)にお願いします。各教員のオフィスアワー*や研究室については、本学ホームページ等で確認してください。(*オフィスアワーとは、教員が必ず研究室に在室している曜日・時間のこと。)

5. その他

- ①教職に関するお知らせは、掲示板(教務課 教職課程)で通知します。掲示板は毎日確認するようにしてください。
- ②経済学部の学生は、裏面の「経済学部1年前期 教職課程履修推奨科目」を確認して、時間割作成をしてください。

経済学部 1 年前期 教職課程履修推奨科目

※教職課程科目を履修できるのは経済・経営学科のみです。
※別途、履修要領一覧も確認してください。

全員が履修する必要のある科目

- 【教職】教育原論（必） 月曜 5 限
- 健康の科学（必） 火曜 1 限または木曜 1 限（後期にも同一科目あり。火曜 1 限）
○社会科、地理・歴史科希望の学生は火曜 1 限に「東洋史」を履修し、木曜 1 限で「健康の科学」を履修してください。なお、後期は「現代国家と法（日本国憲法）」と重なっているため、前期中の履修登録をお勧めします。
- 現代国家と法（日本国憲法）（必） 火曜 2 限（後期も同一科目あり。火曜 1 限）
○後期火曜 1 限に「健康の科学」を履修する予定の人は、「現代国家と法（日本国憲法）」を前期のうち履修することをお勧めします。
※K-CIP 履修者は同一時限に「文章理解」が重なっています。以下の枠囲みを参照して「文章理解」を他の時限で受けることをお勧めします。
- 【教職】教職論（必） 火曜 5 限
○⑦～⑨クラスの学生は「情報処理演習Ⅰ」が重なっていますが、「教職論」を履修することを勧めます。その場合、「情報処理演習Ⅰ」は別の時間帯で受講することになりますが、様々な制約があるため一概には決められません。移動先の時間を決定するため、新入生研修時に経済学部教職担当教員（金子先生）から所定の申告用紙を受け取り、4 月 7 日の 1 年生教職ガイダンス終了時までに金子先生に提出してください。
- スポーツ A（必） 水曜 3 or 4 限（後期開講の「スポーツ B」でも可）
- 情報処理演習Ⅰ（必） クラスごとに指定された時間帯（⑦～⑨クラスを除く）

○教職科目と K-CIP を同時に履修する学生へ

K-CIP 科目「文章理解」が前期月曜 4 限・火曜 2 限、後期火曜 5 限に開講されていますが、クラス指定の状況により、受講できる時間帯が異なります。特に⑦～⑨クラスの学生は注意してください。

- ・①～⑥、⑩～⑪、⑬・⑭クラス→後期火曜 5 限で「文章理解」を受講。
- ・⑫～⑮、⑰～⑲クラス→前期月曜 4 限または後期火曜 5 限で「文章理解」を受講。
- ・⑦～⑨クラス→前期月曜 3 限で「経済学概論」（末木）を受講。前期月曜 4 限で「文章理解」を受講。
※後期火曜 5 限は「情報処理演習Ⅱ」を受講。

中学校 社会科取得を目指す学生

- 必修科目 【教職】東洋史 火曜 1 限
 【教職】西洋史 木曜 5 限
 経済学概論 クラスごとに指定された時間帯
(K-CIP 履修の⑦～⑨クラス除く)

高等学校 地理・歴史科取得を目指す学生

- 必修科目 【教職】東洋史 火曜 1 限
 【教職】西洋史 木曜 5 限

高等学校 公民科取得を目指す学生

- 必修科目 経済学概論 クラスごとに指定された時間帯
(K-CIP 履修の⑦～⑨クラス除く)

高等学校 商業科取得を目指す学生

- 選択科目（推奨） 簿記入門 火曜 3 or 4 限

※Web履修登録の際は、クラス指定のある科目の時間帯に別の科目を履修登録することができません。履修要領一覧を参照の上、受講を希望する科目の初回の授業に必ず出席し、科目担当教員に受講希望の旨を申し出るなど各自で対応してください。

※状況により履修方法が変更となることがあります。掲示板やガイダンスでの連絡をよく確認してください。

※抽選漏れ等により計画した時間割にならなくても、後期以降に補うことができますので、いたづらに心配しないでください。ただし、漫然と履修するだけでは単位が揃わないことがありますので、来期以降もよく計画してください。

九州共立大学 教職課程 履修カルテ 〈自己実現状況評価シート〉

【記入上の注意】 評価の選択は、プルダウンメニューに表示される項目から選択する。表示される基準と換算評点は下記のとおり。

- A 目標を達成している ⇒ 目標達成度80%以上 (評点5)
- B 目標の達成に近づきつつある ⇒ 目標達成度60%以上80%未満 (評点4)
- C 中間的段階である ⇒ 目標達成度40%以上60%未満 (評点3)
- D 初歩的段階から一定の進歩がみられる ⇒ 目標達成度20%以上40%未満 (評点2)
- E 初歩的段階である ⇒ 目標達成度20%未満 (評点1)

学校教育についての理解	教職の意義・役割	教職の意義、理念を理解しているか
	教育史、教育思想についての素養	教育の歴史、教育思想について基礎的な素養を修得できているか
	学校教育の社会的役割についての理解	学校教育の社会的責務、教員の職務内容を理解しているか
児童・生徒に対する責務	教師としての責務	児童・生徒に対する教師としての責務を理解しているか
	心理・発達論的な理解	児童・生徒を心理・発達論的知識で理解する素養を修得できているか
	教師として的人格形成	教師としての責任感・倫理観・行動力を自ら涵養できているか
教育実践力	授業目標の設定	学習指導要領をよく理解し、教育目標にそった授業指導案を作成することができるか
	教材の分析・開発および利用	教育目標に向けて教材を分析し適切に利用する力、および教材・資料を開発、作成する力を身につけているか
	授業構想力・展開力	児童・生徒の学習実態や課題に即して教育効果の高い授業を構想し、展開することができるか
	授業スキル	板書や発問、話し方など、授業をおこなううえでの基本的な表現技術を身につけているか
学級経営力	学級経営力	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を修得し、学級の規律を維持する力を身につけているか
	公平な教室づくり	児童・生徒に公平な態度で接し、信頼・公平感にあふれる教室を築く力を身につけているか
	児童・生徒理解	児童・生徒との応答的な人間関係づくりにより、児童・生徒の個性に対応できる力を身につけているか
	課題対応力	いじめや不登校などの課題をよく理解し、適切に対応する力を身につけているか
	保護者・地域との連携	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解し、積極的に取り組むことができるか
	課外活動指導	課外活動の意義を理解し、熱意をもって指導育成することができるか
協同・コミュニケーション力	他者との協同・連携	他者の理解や協力を得て、あるいは他者の取り組みを評価して、協同して課題解決に取り組むことができるか
	協働授業・研修	他者と協働的に授業を企画し、運営・展開することに率先して取り組むことができるか
	企画力・プレゼンテーション力	新たな取り組みを企画立案し、積極的な説明(プレゼンテーション)により実現をめざす意欲があるか

(様式 1)

教 職 課 程 履 修 願

九州共立大学長 殿

私は、下記に記載の教職課程履修費及び教職課程履修要件内規を確認した上で、教職課程を履修したいのでお届けいたします。

記

令和 3 年 ____ 月 ____ 日

____ 経済学部 経済・経営学科 ____ ・スポーツ学部 スポーツ学科 (どちらかに○をつけてください。)

____ 学籍番号 ____ 性別 ____ 男・女 (どちらかに○をつけてください。)

ふりがな
学生氏名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

※ 保証人は保護者可。保証人氏名については、保証人本人がご記名・押印ください。

【教職課程履修願 提出場所及び期限について】

提出場所：教務課

提出期限：令和 3 年 5 月 7 日 (金)

【教職課程履修費について】

教職課程履修費は次のとおりです。各学年とも 6 月上旬に保護者様宛に納付書を送付する予定です。なお、一度振り込まれた金額については返却いたしません。

	中一種免・高一種免両方取得	高一種免のみ取得
1 回目 (1 年次)	16,000 円	16,000 円
2 回目 (3 年次) 継続手続有	31,500 円	12,000 円
合 計	47,500 円	28,000 円

【各学部の内規について】

本学では、一定の基準を満たせない場合、4 年生配当科目である「教育実習 I・II」、「事前事後指導」および「教職実践演習 (中・高)」を履修することができません。各学部の内規については、裏面をご確認ください。

《経済学部 教職課程履修要件内規》

経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。

- (1) 3年次終了までに、〈教科に関する専門的事項〉から教免必修科目を含む28単位以上、〈各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）〉〈教育の基礎的理解に関する科目〉〈道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目〉のうち教科教育法を含む14単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表カ（第7条関係）に定める全科目（免許法施行規則第66条の6に関する科目）の単位を修得済みであり、かつ、上記教職関連全科目を含む3年次終了までのGPA（成績評価値）が2.0以上であること。
- (2) 4年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を3年後期に受けていること。
- (3) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。

《スポーツ学部 教職課程履修要件内規》

スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。

- (1) 体育実技科目は、3年次終了までに10単位以上修得済みであること。ただし、体育実技科目10単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ（教科に関する専門的事項）に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。
- (2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「特別活動指導法」「特別支援教育概論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道徳教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。
なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。
- (3) 4年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を3年後期に受けていること。
- (4) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。